

# 山行報告書

京都田辺山友会

報告者 樋口 修

山名	向山		山行名	4月例会		
ルート	J R石生駅→観音堂登山口→向山三角点→珪石山→水別れ公園→J R石生駅					
山行日	平成27年4月21日		天候	曇り		
参加者	リーダー：樋口 サブリーダー：山口 男性：秋月、上田 女性：上田(秀) 合計：5名					
ルート概略図	コースタイム					
	地名	時：分	地名	時：分		
	J R石生駅	集	五ノ山	着	12:10	
		発		9:10	発	12:10
	観音堂登山口	着	珪石山	着	12:45	
		発		9:20	発	12:55
	二ノ山	着	分水界展望所	着	13:15	
		発		9:50	発	13:20
	四ノ山	着	水別れ公園	着	13:40	
		発		10:45	発	14:10
	向山三角点	着	J R石生駅	着	14:20	
		発		11:55	発	
	<b>山行報告</b>					
	<p>前日の強い雨・風に加えて、電車の窓から見えた茶色に濁った川の濁流、足元が大丈夫かと多少不安を抱えて、石生駅を出発した。</p> <p>観音堂登山口から、いきなり二ノ山(標高300m)まで急登が続いたが、枯葉を敷き詰めた登山道は、脚にやさしく歩きやすかった。二ノ山から向山三角点・五ノ山(標高591m)を経て珪石山までは、アップ・ダウンを繰り返しながらの縦走路で、道は比較的歩きやすく、北側には黒井山城跡が見え隠れしていた。珪石山から分水界展望所までは、真直ぐの急降下の道だったが、安全対策のロープが張ってあり、ロープを活用しながら雨あがりの滑りやすい道を用意しながら下った。下山後は、水別れ公園で日本一低い分水嶺を見学し、石生駅へ向かった。</p> <p>今回のお目当ての「ヒカゲツツジの花」は、三ノ山付近から見られはじめたが、しばらくは花の多くは散っており、木についているものも盛りは過ぎしぼんでいた。しかし、向山三角点近くから五ノ山にかけて、私達の来訪まで耐えてくれていたかのように、随所にひかえめの淡い白色の花が生き活きと咲いていた。また、尾根筋には、ひかえめのヒカゲツツジの花とは対照的に、ピンク色のゴバノミツバツツジの花が、目を楽しませてくれた。</p> <p>今回は、参加者が5名と少なかったこともあり、足並みもそろい、各自思い思いにカメラのシャッターを切りながら、山行を楽しんだ。また、ハイキングコースは標識が整備されていた。</p>					
	<b>ヒヤリハット</b>					
	なし					

2015.04.21 秋月 康敏

山友会に入会してからいろんな山へ行った。中でも「もう一度行きたくなる山、心に残る山」を提供してくれるのが樋口企画だ。高野山：町石道九度山コース、金剛山：妙見谷コース、六甲山：荒地山コース、高尾・再度山コース等が印象に残っている。同じ山でも何か、どこか一味違うんだな。

今回向山の企画が出た、これは絶対行こう！と思った。そして・・・、やはり正解だった！

二の山から五の山と登ったり下ったりで、縦走標高差 700～800mはあったと思う。

**向山急騰：**午前 9 時 JR 石生駅を降り立った、ここから約 10km 程離れた所が私の子供時代育った場所だ。懐かしい！でも今は無人駅になっている、少し寂しい気持ちが出た。向山は全く知らなかった。駅から少し歩くと「日本一低い分水嶺」があり、そこを進んで行くと登山口がある。標識が幾つもあるので道には迷わない。登山口には「向山連山は全て私有地です、所有者のご理解で登山道が出来ています・・・」と記してあった。ほ～！すごい人がいるもんだ・・・と思いながら歩き始めたが、何と！ケッコウきつい！急登が続く！先頭に樋口、二番手に上田となったので「強い人二人が前で歩くと大変だ！先頭は山口さんに頼むわ、ゆっくり歩いて！」と頼んだ。順番は変わったがスピードは変わらない、早い・・・、でも文句を云わずに進んだ、山口さんは歳を忘れてハイスピードだ。

上田奥さんと少しブツブツ言いながら進んだ。確か登りは心臓がエライと言ってたはずなんだが・・・全く関係なく平気で歩いている・・・

**ひかげつつじ：**途中で 3 人連れの女性と会った「何処から来たの？」「大阪から、ひかげつつじを訪ねて」という。「少し遅いかもしれないよ」と樋口さん。二の山を過ぎて三の山辺りからひかげつつじがシンドそうに咲いている。「ま～これで満足せなあかん・・・」と思いながら、続く急騰を進んだ。途中には滝山古墳の標識、三の山の標識には「谷中分水界起点」と記してある。ここ一滴が流れて右へ行くと日本海、左へ行くと太平洋に分かれる日本一低い分水嶺に流れているのだ。過ぎるとひかげつつじの生き生きした花が咲いている！



トンネルになっている！少し遅いとはいうものの、これだけ咲いていれば満足、松の台展望台で下界・ひかげつつじ見ながらゆっくり楽しんだ。

**各展望：**岩座展望所、松の台展望所など数箇所、展望のよい場所で下界を見て休憩。田植えが終わった時に見るのも絶景だな！と思った。田んぼがきれに見事に長方形に整地されており、ボツボツ田植えが近い、水を張りかけている。「分水界雲海の径」と標識が出ていた。ここら辺りは丹波霧で有名だ。故郷にこんないい山があるとは知らなかった！メンバーの方ありがとうございます。又行きましょう。

